

「七月のキノコ(2)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

感染症の影響で、東京から全く出られなかったが、この週末に数か月ぶりに北軽井沢に来ることができた。運動不足で、明らかに筋力が落ち、全体的に健康状態が低下していると強く感じていた。そこで、一日二万歩ぐらい森の中を歩こうと思ったのだ。



裏庭の森は、地元の方に下草刈りをお願いしてあったので、林床は非常にきれいになっていた。歩きながら深呼吸をすると、「森の気」のようなものが体中に入ってきて、一気に健康を感じる事ができた。カラマツ、アカマツ、ミズナラ、シラカバなどの混合林だ。



30分ほど歩き回っていて聞こえた鳥の声は以下の通りである。(※印は今回初めて聞いた野鳥。)

- ・シジュウカラ ・ヤマガラ ※サンコウチョウ
- ※アオバト ・ウグイス ・ホトトギス
- ・ジュウイチ ・カッコウ ・ツツドリ
- ・コマドリ ・イカル . . .

判別できない鳴き声の野鳥もいたので、たぶん20種類以上いるだろう。やはり東京都は比較にならない種類の多さだと思った。



キノコも多い。毎日雨が降っているせいか、林床のいたるところにキノコが発生していた。写真は「キツネノカラカサ属」の一種のようだが、正確な同定はできなかった。



これは「オオホウライタケ」に似ているが、少し特徴がちがう。キノコの同定は難しい。



これは「キツネタケ」小規模な菌輪を形成していた。この円の中に、キツネタケの本体(菌糸)がたくさん成長している証拠である。